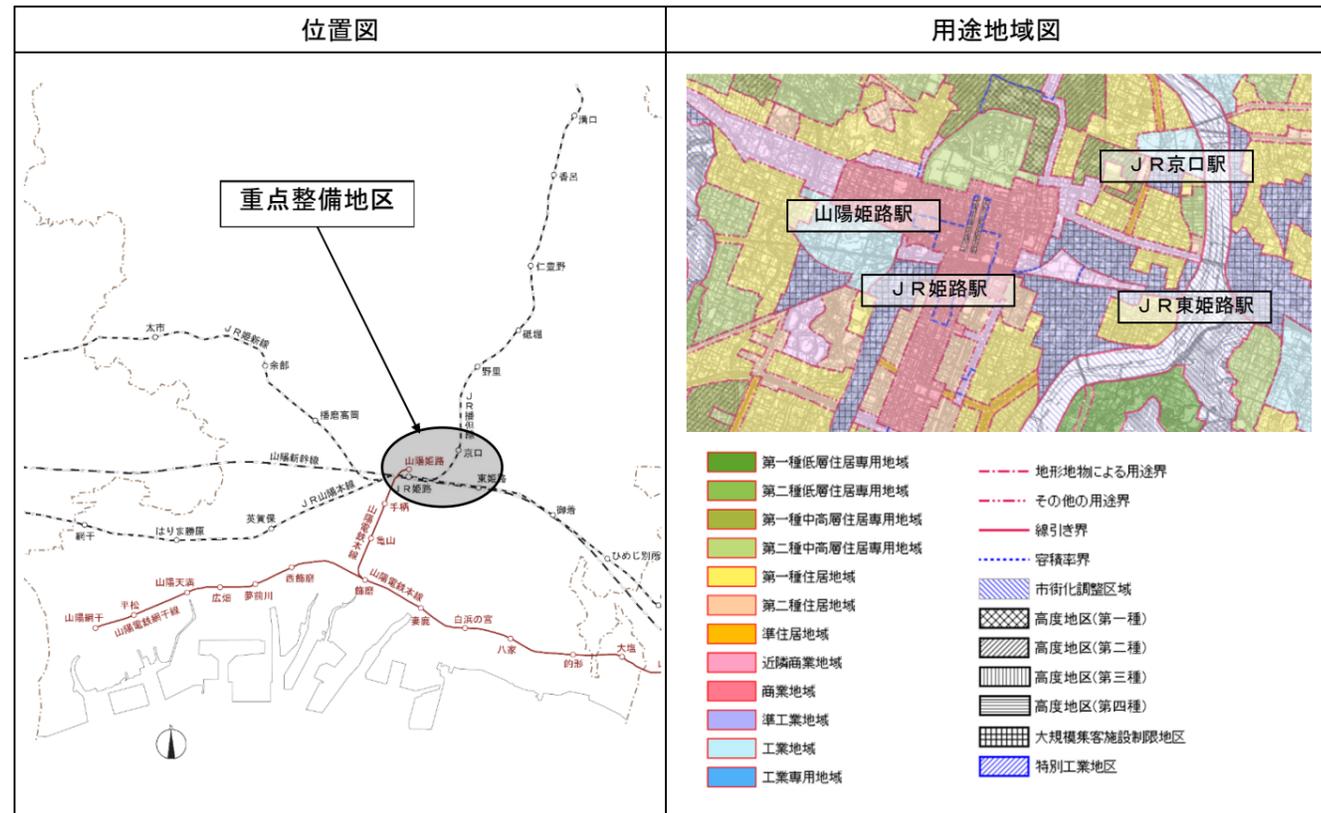


JR姫路駅・山陽姫路駅周辺地区【概況】



地区特性

【データ】

- (1) JR 姫路駅
- ① 1日平均乗降客数・97,078人/日（令和5年度）
- ② 駅の概要
- ＜JR 姫路駅（在来線）＞
- ・構造……高架
 - ・駅舎……高架駅
 - ・ホーム……島式3面8線
 - ・改札口……2（中央改札口、東改札口）
- ＜新幹線姫路駅＞
- ・構造……高架
 - ・駅舎……高架駅
 - ・ホーム……島式・相対式2面3線
 - ・改札口……1（新幹線乗換口）
- ③ 駅前広場の概要
- ・面積……（北）20,430㎡
（南）12,300㎡
 - ・バスバース数……（北）18
（南）3
 - ・タクシーバース数……（北）3
（南）5
- (2) 神姫バスターミナル
- ・路線数……70路線（令和3年4月）

- (3) 山陽姫路駅
- ① 1日平均乗降客数・22,566人/日（令和5年度）
- ② 駅の概要
- ・構造……高架
 - ・駅舎……高架駅
 - ・ホーム……楕円形1面4線
 - ・改札口……1
- (4) JR 京口駅
- ① 1日平均乗降客数・2,236人/日（令和5年度）
- ② 駅の概要
- ・構造……高架
 - ・駅舎……高架駅
 - ・ホーム……島式1面2線
 - ・改札口……1
- (5) JR 東姫路駅
- ① 1日平均乗降客数・3,836人/日（令和5年度）
- ② 駅の概要
- ・構造……地上
 - ・駅舎……地上駅
 - ・ホーム……相対式2面2線
 - ・改札口……1

地区特性

【地区の特性】

- ・本地区は、姫路市のほぼ中央に位置し、JR 姫路駅（在来線）、新幹線姫路駅、山陽姫路駅及び神姫バスターミナルが集中する鉄道・バスの交通結節点となっている。
- ・本地区は、駅を核として商業・業務施設及び公共施設等が集積するエリアが形成されている。また、駅北側へ約1kmに世界遺産姫路城が位置し、その周辺には観光・文化施設群が立地しているなど、播磨地域を代表する中心拠点となっている。
- ・地区の主要な施設の分布状況としては、JR 姫路駅北口から姫路城へ延びる大手前通り及びみゆき通り沿いに山陽百貨店などの商業施設や金融機関などの業務施設が立地している。また、姫路城の南東には市民会館、郵便局、保健所等の文化・レクリエーション施設及び官公庁施設等が分布している。駅の南側には駅南大路沿いに業務施設が立地し、また南東部には裁判所、税務署、年金事務所、県総合庁舎などの官公庁施設が集積している。
- ・姫路駅周辺地区は、姫路駅周辺土地区画整理事業、駅南土地区画整理事業が進行し、文化コンベンション施設、県立はりま姫路総合医療センターが整備され、新たな都市基盤の整備により、21世紀の播磨の発展の核としてふさわしい魅力と活力ある都心の形成が図られている。

【バリアフリーから見た主な現況と課題】

- ① 鉄道駅
- JR 姫路駅（在来線）、新幹線姫路駅、山陽姫路駅**
- ・駅構内におけるエレベーター、エスカレーターの整備、周辺通路等、歩行空間に関するバリアフリー化は完了している。JR 姫路駅のホーム転落防止柵、可動柵の設置が課題である。
- JR 京口駅**
- ・駅舎が高架駅であり、すべて階段での移動となるため、エレベーターの整備が課題となっている。
 - ・改札口は1ヶ所のみで、無人駅となっていることから、周辺案内情報提供の充実が課題となる。
 - ・一般トイレは入口に段差があり、すべて和式となっていることから、洋式トイレの整備及び車いす利用者等が使用できるバリアフリートイレの整備が課題となる。
- JR 東姫路駅**
- ・平成28年（2016年）に開業した駅であり、バリアフリー化は完了している。
- ② 駅前広場、バスターミナル
- ・姫路駅北側及び南側の駅前広場、バスターミナル、東姫路駅の駅前広場が整備済みである。
 - ・京口駅の駅前広場の身障者乗降場や視覚障害者誘導用ブロックの敷設・改良が必要である。
- ③ 道路等
- ・地区内の主要な道路は、全体的に歩道幅員が確保され、概ねバリアフリー化が図られている状況である。
 - ・一部の箇所では、視覚障害者誘導用ブロックが舗装材と同系色となっており、輝度比の確保が必要である。
 - ・JR 姫路駅から姫路市文化コンベンションセンター及び県立はりま姫路総合医療センターまで、連続的に2階デッキ及びエレベーターの整備が行われており、バリアフリー化が図られている。
 - ・JR 京口駅から姫路市文化コンベンションセンター及び県立はりま姫路総合医療センターへの経路は、歩道は整備されているものの、段差・勾配の改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置が必要である。
 - ・JR 東姫路駅から姫路市文化コンベンションセンター及び県立はりま姫路総合医療センターへの経路の一部は、歩道及び通路等が整備されているものの、全体的に狭く、また一部区間で歩車分離が課題となっている。
- ④ 信号機等
- ・姫路城周辺など主要交差点においては視覚障害者用付加装置（音響信号）が整備されているが、生活関連経路や歩行者の交通量の多い路線については、より一層の整備が必要である。

JR姫路駅・山陽姫路駅周辺地区【関連事業計画】

姫路駅周辺土地区画整理事業		資料：姫路駅周辺・阿保地区整備課HP
概要	<p>姫路市は、今後更なる発展の期待が大きい播磨地域の中核都市です。その核となるJR姫路駅周辺地区の発展・活性化を促進するため、連続立体交差事業・土地区画整理事業・街路事業による都市基盤整備とまちづくり総合支援事業による上物整備を行います。</p> <p>その一環をなす土地区画整理事業は、JR山陽本線等の高架用地の確保、姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る交通体系の確保、駅前広場および都市計画道路等の公共施設の整備改善を図り“「播磨の顔づくり」”を目標に“姫路の顔”としてふさわしい街区の形成を図ることを目的としています。</p>	
施行者	姫路市	
施行区域面積	45.45ヘクタール	
都市計画決定告示日	昭和62年（1987年）2月27日	
事業認可日	平成元年（1989年）5月19日	
事業計画決定公告日	平成元年（1989年）5月30日 平成7年（1995年）11月30日（第1回計画変更） 平成11年（1999年）3月30日（第2回計画変更） 平成14年（2002年）10月30日（第3回計画変更） 平成20年（2008年）12月25日（第4回計画変更） 平成22年（2010年）2月22日（第5回計画変更） 平成22年（2010年）12月17日（第6回計画変更） 平成27年（2015年）1月23日（第7回計画変更） 令和3年（2021年）2月1日（第8回計画変更） 令和6年（2024年）7月10日（第9回計画変更）	
事業施行期間	平成元年（1989年）5月30日（事業計画決定公告日）～令和12年（2030年）3月31日	

駅南土地区画整理事業		資料：姫路駅周辺・阿保地区整備課HP
概要	<p>本地区は、JR姫路駅の南西約600メートルに位置し、JR山陽本線等連続立体交差事業に関連する山陽電鉄線の移設により、旧山陽電鉄線が帯状に残り、有効な土地利用が行われていない状況において、公共施設の整備が不十分なまま市街化していました。そこで、土地区画整理事業の施行により、都市基盤施設の整備改善並びに宅地の利用増進を図り、計画的な市街地として再生することを目的としています。</p>	
施行者	姫路市	
施行区域面積	7.43ヘクタール	
都市計画決定告示日	昭和49年（1974年）1月29日	
事業認可日	平成19年（2007年）7月4日	
事業計画決定公告日	平成19年（2007年）7月18日 平成20年（2008年）5月14日（第1回計画変更） 平成24年（2012年）3月14日（第2回計画変更） 平成28年（2016年）2月8日（第3回計画変更） 令和2年（2020年）2月13日（第4回計画変更） 令和5年（2023年）11月30日（第5回計画変更）	
事業施行期間	平成19年（2007年）7月18日（事業計画決定公告日）～令和10年（2028年）3月31日	

文化コンベンション施設整備事業		資料：観光コンベンション室HP
概要	<p>キャストィ21イベントゾーンの文化・コンベンションエリアでは、本市の新しい交流拠点として、文化芸術の拠点としての機能と、「ものづくり力の強化」「地域ブランドの育成」「交流人口の増加」を促進する機能をあわせた『アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）』を整備しました。</p> <p>これにより、本市の市民文化の振興並びに都市魅力の創造、発信を図り、地域住民の相互交流と中心市街地の賑わい、都市の発展に大きな役割を果たすことが期待されます。</p>	
位置	JR姫路駅の東約700メートル（キャストィ21公園までは約400メートル）	
面積	約4.6ヘクタール（公園等区域約1.0ヘクタール含む）	
周辺道路	北：十二所前線（幅員20メートル） 西：下寺町線（幅員16メートル） 南：区画道路（幅員10メートル）	
周辺整備(キャストィ21公園)	<p>施設西側にキャストィ21公園を整備しました。都心部における緑とうるおいの空間を創出すると共に、公園内の歩行者デッキは、建物2階のメインエントランスに直結する、安全・快適で魅力ある歩行者空間を目指して整備しました。</p>	

県立はりま姫路総合医療センター整備事業		資料：兵庫県病院局企画課HP
概要	<p>「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画」に基づき、播磨姫路圏域において高度専門・急性期医療を提供する中核的な総合病院として「県立はりま姫路総合医療センター」を整備しました。</p>	
建設場所	姫路市神屋町(キャストィ21イベントゾーン「高等教育・研究エリア」内) 敷地面積：30,000㎡ 用途地域：近隣商業地域	
構造規模等	1. 病院棟 鉄骨(CFT)造(免震構造)、地上12階 塔屋2階、延べ面積58,945㎡、高さ57.5m 2. 放射線治療棟 RC造(耐震構造)、地上2階、延べ面積1,757㎡、高さ10.3m 3. 教育研修棟(獨協学園、県立大学、病院研修部門・院内保育、エネルギーセンター) RC造(耐震構造)、地上5階、延べ面積8,401㎡、高さ26.3m	
屋外施設	歩行者デッキ、ロータリー、立体駐車場(814台)、平面駐車場(86台)等	

JR姫路駅・山陽姫路駅周辺地区【現況図】

